

かけがえのない命を愛することのできる 心と体のための健康安全郷育プログラム

2009年に「かけがえのない命を大切にできる心と体づくり」を目的として当団体「リズムオブラブ」を設立しました。通年、幅広い年齢層を対象とし、受講生の体力や環境に応じた、主宰考案の「山梨発信! 健康安全郷育プログラム」の普及活動をしています。このプログラムは、「かけがえのない命を大切にすることができる心と体づくり」を、ふるさと山梨で育んで行こうというトーク&エクササイズのリズム運動プログラムです。赤ちゃんから高齢者・障がい者まで、いつでもどこでも楽しめる生涯にわたるスポーツレクリエーションです。

現在、リズムオブラブは山梨県警察本部・YBS山梨放送とともに「電話詐欺撲滅キャンペーン」を実施し、ふるさと山梨の健康安全の課題解決にむけて活動を展開中。主宰は、山梨県教育委員会育児サポート番組「子育て日記」(山梨放送) 番組制作委員を務める。「保育における『安全教育』の考察～幼児の危険察知・回避能力をもとに～」(伝承遊びを活用した、子どもの危険察知・回避能力の開発に関する基礎的研究) 論文発表。やまなし大使就任。

ホームページアドレス <http://www.heartandbody.net/>
 問い合わせ先電話番号 080-2258-2440 (事務局)
 メールアドレス watanabemitsumi@gmail.com
 主宰ブログ http://yaplog.jp/rhythm_of_love/
 フェイスブックページ <https://www.facebook.com/heartside>



リズムオブラブの地域活動の主旨や理念に賛同していただけるサポーターを随時募集中です。地域活動を通じて皆様のもとへ還元させていただきます。詳細は事務局までお問い合わせください。

【ふるさと山梨でたくましく生き抜ける子どものための健康安全を体感しよう!】 「地域交流会」

<時間 午前10時30分～12時> <場所 甲府市総合市民会館1階格技場>

- 専門家の講話を聴いて、これからのふるさと山梨の安全安心について知ろう。
- 健康安全視聴覚教材を使って、安全基礎知識を学び、危険察知・回避能力を向上させよう。
- いざと言うときの心と体の在り方を見つめ直し、仲間とコミュニケーションをとりながら実践しよう。

「危険察知・回避能力が養われる楽しい遊びのコーナー」

<随時> <場所 甲府市総合市民会館1階格技場>

「山梨発信! 健康安全郷育プログラム」を継続すると、 こんなことが身に付きます・・・

危険察知・回避能力(想像力・判断力・瞬発力・精神力・
集中力など)の育成

スキンシップ&コミュニケーションの体感

協調性・自主性・共感性の養成

足腰の強化・自己調整力・バランス力・柔軟力の育成

基礎体力の向上・ストレス解消・リフレッシュ

セルフコントロール・自己肯定感・躍動感・開放感の体感

仲間意識や"元気・やる気・勇気・本気"の目覚め

礼儀作法・集団規律の体得 等々



たくさんの方々の体験と体感をお待ちしています♪

おもてなしやまなし!ひし丸君と写真を撮ろう!

県民みんなで『おもてなし』に取り組みましょう!!

・山梨県に住む全ての人が山梨の持つ魅力と価値を知り、「山梨ならではのおもてなし」を推進し、「住んで良かった訪れて良かった」と思える活力に満ちた地域社会の実現を目指すため、『おもてなしのやまなし観光振興条例』を制定し、県全体で『おもてなし』を推進しています。



10月10日は
ひし丸君と
記念撮影!!



私たちにもできる「おもてなし」がたくさんあります。

『おもてなし宣言』をお願いします!!

- ・旅行者に対して行う様々な「おもてなし」の取り組みを「やまなしおもてなし宣言」の形で表明し、登録していただくものです。
- ・登録いただいた団体には、「やまなしおもてなし宣言」プレート・ステッカーを、個人の方にはバッジをお送りします。
- ・登録は「おもてなしやまなし!ホームページ」からできます。登録いただいた「宣言内容」、「登録名」等はホームページ上で紹介します。

やまなしおもてなし宣言

検索



『おもてなし年賀状』今年も販売します!!

- ・おもてなし推進事業の一環として昨年好評いただいた「おもてなし年賀状」を今年もやまなし観光推進機構で販売する予定です。
- ・販売日など詳細はホームページでお知らせします。



お問い合わせ

山梨県観光部 観光企画・ブランド推進課

TEL 055-223-1556 FAX 055-223-1574

ホームページの検索は「おもてなしやまなし」で

おもてなしやまなし

検索

福島の子供と山梨の子どもの木工リレー体験

昨年夏の『じゃんじゃんキャンプ』で身延の森林間伐体験をしました。

福島の子供達が行った檜の皮むき間伐材（1年乾燥させて、今年加工が可能）を、今年は山梨の子供達によって木工品を完成させてもらう企画です。

コースター、プレートなどを、作って楽しんで頂けたら幸いです。また、キャンプで好評の「駄菓子屋」を大学生中心でおこないます。



団体紹介

じゃんじゃんキャンプ実行委員会

東日本大震災から4年が過ぎ被災地福島では、放射線に悩む子どもと親達が、生活しています。外遊びも制限され、土や川に触れる事も困難だそうです。私達は地元で出来る被災地支援を理念とし、子ども達の免疫力の回復が期待できる『保養』キャンプの実施・運営を目的とした活動をしています。山梨の大自然を体感して、県産の食材を使った食事、山梨県民の温かいおもてなし精神に触れ、福島と山梨の絆をこれからも深めていく所存です。

遠い福島的事ですが、どうか風化させず、
『被災地にやさしい山梨』を
継続して頂きたいと思います。

「英語でアート・ワークショップ」byハンナ・ケーシー

甲府市滞在中のイギリス人女性作家ハンナの指導でいっしょにアートを楽しもう!

作家は絵の具で描いたり、紙の切り抜きを貼るコラージュの技法を用いて作品を作っています。大胆でユーモラスな形と鮮やかな色が特徴です。これまで世界各地に滞在して制作発表をしてきました。山梨ではその美しく独特な風景を元にした作家自身の作品展示とワークショップを開催します。英語で行われるので時には英語を使いたい方にもおすすめです。

「ハンナ・ケーシー展」約10点(紙、絵の具、コラージュ) 「英語でアート・ワークショップ」

① 11:00~12:00 ② 13:00~14:00

無料・予約なし 子供から大人まで定員10名(午前5名、午後5名)通訳あり
(作品はお持ち帰りいただけます)



団体紹介

アーティスト・イン・レジデンス山梨 [AIRY] (エアリー)

アーティスト イン レジデンスとは、国内外からアーティストを招へいし、滞在中の活動を支援する「滞在型創作活動」プログラムです。英語の「インレジデンス」は日本語では「住居」「所属」を意味し、アーティストは新たな場所に居住して、地域に所属しながら、新しい視点を取り入れた創作や表現活動を行うものです。山梨県での創作活動を通して、地域のおとなこどもにアートに触れてもらう場を設け、相互の文化的背景を感じると共に、作品発表の機会を提供します。

また、山梨発のアートを国内外に発信するために、積極的に国内外の受け入れ先との交渉を進めて、アートを通して相互の交流を図っていく活動です。

AIRYがアーティストに提供するもの

- *制作に集中するための時間
- *制作に必要な空間、発表に必要な空間
- *人的・物的支援
- *ネットワーク、情報提供

この活動は営利を目的にするものではなく、あくまでもアーティストの創作活動を通して、各地への滞在や、人々との文化交流を実現化し、様々な表現方法に触れながら新たなネットワークを築こうとするものです。“もてなしの心”と“アイデアの交換”をモットーに山梨県を起点として、地域と人々に対して開かれた活動をめざしています。今年エアリーは活動10周年、これまで60名の作家を世界中から迎えました。

ボールを使って親子の絆を深めよう! ヴァンくんと一緒に「郷育探検」しよう!

① 親子ボール遊び

親子で1つのボールを使って、一緒に遊びます。親子でスキンシップをとることで親密感を高め、一体感を共有します。コーチが親にも子にも互いに感謝の気持ちを持つような問いかけをして、親子の絆を今よりも強くします。

② ヴァンくんと一緒に「郷育ブース」探検ツアー

ヴァンくんと一緒に郷育について考えるブースをまわることで、さらに子どもの郷育への興味と関心を深めます。



©2015VFK

ボランティア・NPOコーナー ～ボランティア・NPO活動に参加しよう!～

ボランティア・NPO活動は、私たちの生活に密接に関係し、社会の中でも重要な役割を担うようになってきています。また、様々な世代の方々が、ボランティア・NPO活動に関心を持たれ、身近な日常生活における関心のある分野や、課題・問題解決に積極的に参加されています。このコーナーでは、ボランティア・NPO活動への理解を深めていただき、身近な活動として参加していただくためのきっかけづくりの場となるよう、気軽に参加できるボランティア情報資料の配布や、活動に参加するための相談、インターネットなどを活用した情報の調べ方などについて紹介するコーナーです。ボランティア・NPO活動に参加されている方や、これから参加をお考えの方など、是非、お気軽にご来場下さい!

○ボランティア・NPO情報コーナー

現在、募集・開催予定のボランティア・NPO情報を配布します。

○ボランティア・NPO活動相談コーナー

ボランティア・NPO活動ってどんなこと?情報見るだけでは参加しにくいなどのご相談に県ボランティア協会職員がお応えします。

○インターネットを活用した ボランティア・NPO情報

パソコンやスマートフォンなどを利用して、ボランティア・NPO情報を検索する方法についてご紹介します。



やまなしNPO
情報ネット



インターネット版
ボランティアNPOボード

NPO法人山梨県ボランティア協会

1977年(昭和52年)1月に発足したボランティア・NPO活動を推進する民間団体です。1978年7月に開館した山梨県内のボランティア活動の拠点である山梨県ボランティアセンター(現在の山梨県ボランティア・NPOセンター)の維持管理・運営業務のほか、県民ボランティア運動を推進し、ともに生きる共生社会づくりを目指した事業活動に取り組んでいます。

主な事業活動

(1) 情報収集・提供事業

ボランティア・NPO活動情報紙「ボランティアだより」の発行、ボランティア・NPO活動啓発資料の発行、インターネットを活用したボランティア・NPO情報提供

(2) ボランティア教育・人材育成事業

NPOの基盤強化事業、国内ボランティア・NPO研修事業、ボランティア夢・愛共育事業、ボランティア教育推進事業

(3) 総合的コーディネート事業

ボランティア・NPO相談斡旋、NPOひろばの運営

(4) 調査・研究事業

ボランティア・NPO活動の状況調査・研究

(5) ネットワーク事業

山梨県ボランティア・NPOセンター使用団体連絡会議、災害・防災ボランティアの広域連携支援事業、子どもの広場、行政・企業・NPOの協働推進フォーラム、協働推進支援センター事業

(7) 行政・企業・NPOとのパートナーシップ事業



山梨県ボランティア・
NPOセンター



県内285ヵ所にある
ボランティア・NPOボード

(連絡先)

〒400-0031 甲府市丸の内2丁目35-1
山梨県ボランティア・NPOセンター内
TEL.055-224-2941 FAX.055-232-408
E-mail:vol01@yva.jp

山梨県ボランティア・NPOセンターホームページ
<http://www.yva.jp>

やまなしNPO情報ネット(ボランティア・NPO専用サイト)
<http://www.yamanashi-nponet.jp>

専門家がお悩み解決、専門家によるプロボノ無料相談会

司法書士、税理士、社会保険労務士が身近な問題に対して専門家の見地から無料でご相談を承ります。

是非この機会にご相談ください。



団体紹介

山梨プロボノ推進協議会

山梨プロボノ推進協議会では、職業の専門性を社会に活かす活動を行っております。

プロボノとは

プロボノ（Pro bono）は、各分野の専門家が、職業上持っている知識・スキルや経験を活かして社会貢献するボランティア活動全般。また、それに参加する専門家自身。

プロボノとはラテン語で「公共善のために」を意味する pro bono publico の略[2]で、最初は弁護士など法律に携わる職業の人々が無報酬で行う、ボランティアの公益事業あるいは公益の法律家活動を指します。弁護士による無料法律相談、無料弁護活動などが含まれます。現在も弁護士の業界において、もっとも浸透しています。中小企業診断士も、東北復興支援活動を中心に、手弁当で東北へ出向き、地元企業、商店街の復興を支援するなど、幅広く活動しています。

第35回 山の都ふれあいコンサート

山の都ふれあいコンサートは今年で35回目を迎えます。障害の有無にかかわらず、ともに音楽を通して、交流を深め、お互いを理解し、年に一回オリジナルコンサートとミュージカルを発表しています。

現在、コンサートでの発表曲の選考やミュージカルの創作及び練習に励んでいます。

また、今年は35周年の特別企画として、NHKの「にほんごであそぼう」でおなじみのおおたけ静流(しずる)さんと大友剛さんが楽しいショーを展開してくださいます。

11月23日のコンサートでは、多くの方のご来場を心からお待ちしております。

郷育フォーラムの中では、山の都ふれあいコンサートにおいて、作詞、作曲したオリジナル曲でダンス発表している“あゆみキッズ”がダンス発表をさせていただきます。みんなダンスが大好きなので皆さんと一緒にダンスを楽しんで下さい。

出演：あゆみキッズ

あゆみキッズとは、ダウン症やその他の障害の子どもたちとその兄弟姉妹、母親も加わったグループです。



イラスト：岩崎けんいち

ふれコン HP :
<http://furekon.net/>

「山の都ふれあいコンサート」開催予定

2015年11月23日(月) 勤労感謝の日

13:00 開場 13:30 開演 入場無料

コラニー文化ホール 大ホール

団体紹介

山の都ふれあいコンサート実行委員会

『山の都ふれあいコンサート』は、1981年の「国際障害者年」をきっかけとして生まれました。はじめは、障害をもった方々から寄せられた詩に曲を募集し、コンサートの中で発表するというのをベースに行われてきましたが、その後は詩の募集対象を一般に拡大、障害の有無に関係なく、幅広い年齢層の方々からご応募いただくようになりました。

また、詩や曲を募集して発表するコンサートに加え、「創作ミュージカル」などの表現方法を取り入れ、仲間とともに『山の都ふれあいコンサート』の大舞台上で思いっきり自分を表現することを楽しみにしています。

その“ふれコン”も今年で35回目を迎えます。

障害者と健常者の枠を越えた多くの仲間たちが、コンサートやミュージカルを通じて、より深く大きな“ふれあい”の輪を広げ、互いに交流することを目的としている『山の都ふれあいコンサート』は、ボランティアで組織する実行委員会が中心となって運営しています。

教員や保育士、施設職員、甲府青年会議所の方々、コラニー文化ホールの方々、学生、一般・・・など、多方面からたくさんの人々に支えられ、活動が続いています。